

DV（ドメスティックバイオレンス）について

●コロナ禍で、日本だけでなく世界でDVの増加が問題になっています。

●我孫子市では、昨年（令和2年10月1日）、我孫子市配偶者暴力相談支援センターが誕生して半年が経ちました。

●ワンストップ窓口として、相談から一時保護、生活再建までの切れ目ない支援が行われていると思います。

（1）DVの状況と感染拡大の影響

●感染が拡大してからの※月別のDV相談の資料をいただきました。

●資料によると、相談が最も多かった月は1回目の緊急事態宣言が出された昨年の4月で相談件数は51件。

●2番目に多かった月は今年の3月で43件。

●3番目に多かった月は3回目の緊急事態宣言が出された今年の1月で相談件数は34件です。

●感染の拡大や長期化に伴い、全国的にDVが増えていると言われています。

●相談などからみえてきた我孫子市における DV の状況、また、感染拡大の影響についても所見をお聞かせください。

※月別の DV 相談の資料：1 回目の緊急事態宣言が発出された昨年 4 月から今年の 4 月までの DV 相談の資料

(2) DV 被害の内容

●資料からみると、圧倒的に多いのが身体的暴力に関する相談と心理的暴力に関する相談ですが、どのような内容の被害が多いのか、お聞かせください。

●また、これまでの DV 相談はほとんど女性でしたが、今年の 1 月に入って男性の相談者が 1 名、2 月に 2 名、3 月に 3 名と続けて現れました。

●男性からの DV 相談の内容や男性の DV 被害の状況などについて、お聞かせください。

(3) 市での相談方法とその周知方法

●この間、社会福祉課（R2 年 10 月 1 日以降は我孫子市配偶者暴力相談支援センター）での相談方法として最も多いのが DV 専用電話での電話相談で 200 件、次に多いのが来所相談で 138 件、そして

出張相談も4件ありました。

●DV専用電話や来所相談、出張相談の相談体制についてお聞かせください。

●また、DV被害をどこに相談したら良いか分からない方が多いと思いますが、相談方法をどのように周知しているのか、お聞かせください。

(4) 被害者への相談後の支援（一時保護、生活再建等）と加害者への支援

●必要があれば、相談後に一時保護や様々な生活再建までの支援が行われていると思います。

●この間（R2年4月～R3年4月）、相談後にどのような支援が行われたのか、お聞かせください。

●また、DV被害者だけでなく加害者に対する支援も必要だと言われています。カウンセリングなどの加害者への支援プログラムは行われているのか、お聞かせください。

(5) 警察や地域との連携・協力

- 身体に危害を加えられそうな緊急の場合は、先ず 110 番に電話しましょうと呼びかけていますが、どのように警察と連携・協力しているのか、お聞かせください。
- また、DV 被害者は外との関係や情報を断たれることが多いため発見が遅れるケースが目立ちます。
- 早期に発見するためには地域の協力が必要です。
- 日常的には家庭を密室化させないことや孤立させないことが重要ですが、おかしいと思った時には通報することも大切です。
- 地域との連携・協力についてのお考えをお聞かせください。